



建交労

2019年春闘・月間推進ニュース

第20回大会以降の拡大報告は340人 3月～4月春の組合員拡大月間の推進を

建交労第20回定期大会後の組合員拡大の報告は、2月4日までに「新結成3組織13人、組織内拡大は78組織327人」で計340人です。1月～2月は春の拡大月間準備期間となっています。2019年春闘の推進と合わせて闘う仲間を増やすとくみの準備をすすめましょう。さらに要求アンケート

2月4日 現在							
2018年度9月～ 組織拡大数		9月	10月	11月	12月	1月	計
新結成	組織数	1	0	1	1	0	3
	拡大人数	9	0	3	1	0	13
組織内	全体組織数	26	33	32	29	3	123
	組織数(重複除く)	26	24	16	11	1	78
	拡大人数	59	68	95	88	17	327
組合員拡大合計人数		68	68	98	89	17	340

の集約や三千万人署名などで結びついた、職場・地域にいる未組織の仲間にしかりと働きかけができるように、「対象者名簿」を作成しましょう。

なお、中央本部が作成する春闘チラシは、2月18日以降各組織に到着する予定です。街頭宣伝などで大いに活用しましょう。

賃金・単価アップ、週休2日制の実現を 建設労働者 2.6 春闘イエローアクション

建設労働者の賃金・単価引き上げや週休2日制確保などの待遇改善を求めて「建設労働者 2.6 春闘イエローアクション」が2月6日(水)に東京都内で開催され、約400人が参加しました。建交労は生公連の立場で、同集会の実行委員会団体として参加しました。



発言する栃木ダンプ支部ナンディカさん

主催者あいさつをおこなった、首都圏共闘の松本久人議長は「人手不足が深刻化しているが、現場の賃金・単価が改善していない。若者が安心して働ける建設産業を実現しよう。」と訴えました。その後、現場労働者の決意表明では、栃木ダンプ支部に所属しているスリランカ国出身の「ナンディカさん」が、10年前に来日して建設業界で働いてきた苦労やダンプ運転手として働いている現状を紹介し、「国籍など関係なく、みんなと同じように働ける建設業界にするために頑張りましょう」と参加者に呼びかけ、多くの共感を得ていました。

終了後は、新橋駅頭にて参加全員で寒風の中、宣伝行動を実施しました。

建交労2018年度組織拡大報告用紙

2019年 月 日

新結成 2018年9月以降

No	県名	単組・支部・分会名	加入組合員数	公表可否	結成年	結成月	業種など
1							
2							
3							
4							
5							

組織内拡大 2018年9月以降

	県名	単組・支部・分会名	加入組合員数	公表可否	加入年	加入月	業種など
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							